

(初めての方:黄色:6-1)

(2回目以降:オレンジ:6-2)

(様式6の1)

求職活動支援機関等利用証明書

(記入方法)

あなたの求職活動支援機関等の利用状況について、Iの1又はIIの1の登録が有効であることに加え、その他該当する求職活動を行った年月日を合計2つ以上記入して下さい。

I 母子家庭等就業・自立支援センター、公共職業安定所、民間職業紹介所の利用

① 求職登録が有効 **令和 2年 8月 1日現在**

② 求人情報の提供 **令和 2年8月1日** / 月 日

③ 職業相談 **令和 2年8月2日** / 月 日

4 職業紹介 年 月 日 / 月 日

5 就職活動セミナーなど職業講習の受講等 年 月 日 / 月 日

II 労働者派遣会社の利用

1 労働者派遣登録が有効 年 月 日現在

2 具体的な派遣先企業を提示 年 月 日 / 月 日

ハローワーク〇〇長 殿

児童扶養手当の受給に係る資料として自治体へ提出するため、
上記 (I / II) ① ② ③ 4、5) について証明願います。

利用者(求職者)氏名

令和 2年8月2日

児扶 花子

児扶

上記について相違ないことを証明する。 **令和 元年8月2日**

機関等の名称

ハローワーク〇〇

所在地(電話番号)

0742-〇〇-△△□□

**ハローワ
印
ーク之印**

<注意事項>

【13条の3の(1)求職活動】に該当する場合に提出

- ・必ず様式5とセットで提出してください。様式6-1と6-2の対象者は異なりますが、内容は同じです。
- ・I-1の日付とI-2~5(以下単に1~5とする)の日付は矛盾しないように記入してください。1がいずれの日付よりも早い、もしくは全て同日でないとは不可です。(1の登録があったうえでの2~5であるため。)
- ・【2~5のうち2つ以上を実施】もしくは【2~5の同一項目を別日に実施】でない場合不可となります。
1がR2.8.10として、2が2つとも8/10→不可、2が8/10で3も8/10→可、2が8/10で3が8/1→不可
⇒同じ項目なら同日不可、別の項目なら同日可となります。
- ・「利用者(求職者)氏名」は児童扶養手当受給者が記入、それ以外は原則証明者が記入となります。
- ・例としてハローワークの場合、「機関等の名称」等はゴム印等で、その後ろに証明印を押しています。

(注) 証明欄が不足する場合は、別葉にて提出してください。